

【概況】<石油備蓄放出合意~上海新型コロナウイルス感染拡大>

●1日、バイデン米大統領は前日原油価格高騰を受け、戦略石油備蓄から100万バレルを今後6ヶ月間放出すると発表しました。また日米欧など主要な石油消費国が加盟する国際エネルギー機関が緊急会合を開催し、各国が備蓄石油放出を追加することで合意した結果、WTI原油は99.27ドルまで下落しました。

●4日、ロシア軍が撤退したウクライナ首都キーウ郊外で、民間人とみられる多くの遺体が発見されました。ロシアに対する国際的非難が高まり、日米欧は経済制裁をさらに強化する構えを示した為、原油供給への不安が再び台頭し買いが優勢となりWTI原油は、103.28ドルへ反発しました。

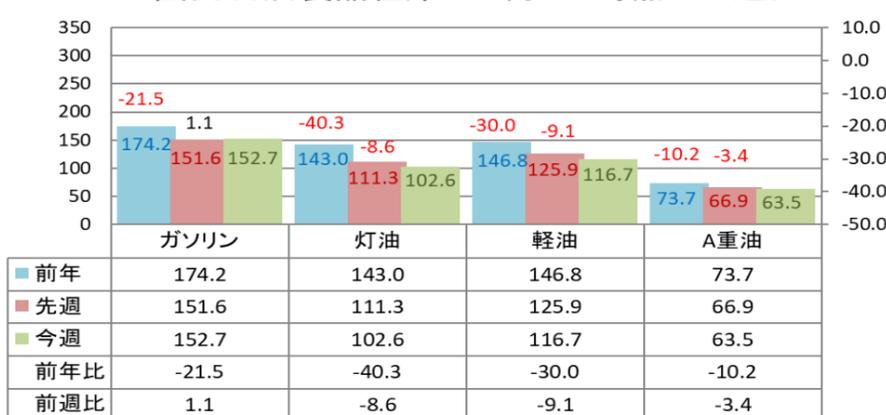
●5日、中国最大の経済都市である上海で、新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウンの解除期限を迎えたものの、市内全域で当面外出制限が続くことが決まり、経済活動の停滞がさらに長引きエネルギー需要が減ると見方が広がり、WTI原油は、101.96ドルへ反落しました。

●6日、日米欧など石油の主要消費国が加盟するIEAは米国以外の加盟国が計6,000万バレルの石油備蓄を追加放出する方針で合意しました。また米原油在庫の予想外の増加も重なり、需給逼迫懸念が和らぎWTI原油は、96.23ドルへ下落しました。

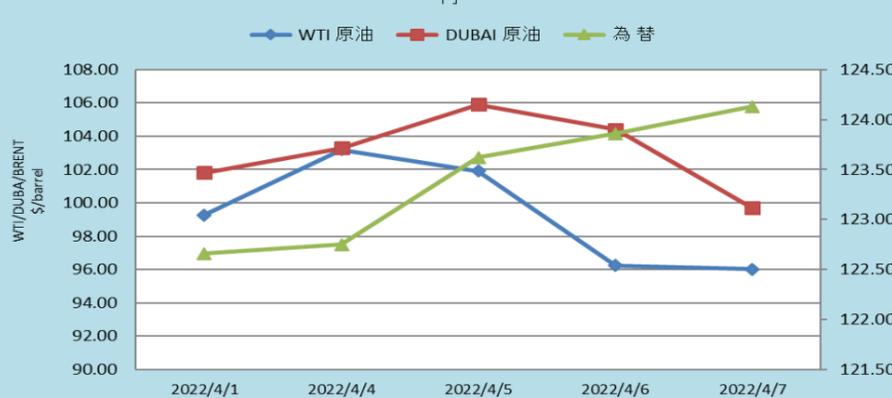
●7日、石油の主要消費国による備蓄の協調放出や中国上海の新型コロナウイルス感染拡大を背景に、需給が緩和するとの見方が強まりWTI原油は、96.03ドルまで3日連続で下落しました。

4月8日 17:00現在 WTI原油 97.50ドル 為替 1ドル 124.79円

国内石油製品在庫 4月2日時点



ドル/bbl WTI・DUBAI / 為替 関連グラフ



	次回元売変動予測	
	4/14~	元売変動予測
ガソリン	→	-2.7~-3.2
灯油	→	-2.7~-3.2
軽油	→	-2.7~-3.2
A重油	→	-2.7~-3.2
LSA	→	-2.7~-3.2

※原油コスト「-3.0~-3.5円」
 激変緩和補助金「-20.4円」
 ※現時点での予測です。

【製品卸価格】<市況連動玉販売強化>

《今週》今週の元売り仕切り改定は3社ともに原油コスト「-4.5円」、補助金「-20.7円」となり、実質「-0.2円」の値下げ改定となりました。資源エネルギー庁の公表する全国レギュラーガソリンの4日時点の小売価格平均は174.1円となっております。今週のマーケットの主役は、市況連動玉を持つ業者で先安観があるため月間玉や週決め玉を持つ業者に先行して値下げし販売を強化しています。

《4月9日以降》次回の元売り改定は、原油コスト「-3.0~-3.5円」の値下げ改定予測で、激変緩和補助金は「-20.4円」の見込みで、都合「-2.7円~-3.2円」の値下げ改定の予測となっています。4月9日以降の販売の主役も引き続き市況連動玉を持つ業者です。各国の石油備蓄放出合意及び上海の新型コロナウイルス感染拡大による需要減のニュースで先安と見て、市況連動玉を持つ業者は先行値下げし販売を強化しています。一方、仙台と千葉でトッパーが停止中の製油所があり、四国の製油所の6ヶ月間の定修も予定されているため今後の玉繰りはタイトになる可能性があります。

【次世代エネルギー】<モノづくりにおけるカーボンニュートラルを確立する>

富士フィルム、東京ガス、南足柄市の3社により脱炭素社会実現に向けた包括連携協定が結ばれたと発表されました。富士フィルムホールディングスと東京ガスは、富士フィルムの足柄サイト(神奈川県南足柄市)に二酸化炭素(CO2)排出ゼロを実現するエネルギー設備を導入します。まずは、CO2を燃料化するメタネーションや水素製造などを東京ガスの脱炭素技術と、富士フィルムの設備運用技術を融合しカーボンニュートラルを確立するとの事です。取り組みは再生可能エネルギーを活用して製造した水素とCO2でメタンを合成し、そのメタンを工場の燃料として供給する事で、30年度までに足柄サイトの排出ゼロ化を目指します。この様に、1社では出来ないことを複数社と連携し、技術を融合しカーボンニュートラルの実現に向けて取り組む事で、温室効果ガス排出量を抑え温暖化撲滅を目指しています。

【出典】

① <https://newswitch.jp/p/31491>